

国土交通省は12日、「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅コンテスト2012」の選考結果を発表した。最高賞の優秀賞に東根市観光物産協会（横尾昭男会長）の応募企画「水がもたらす食文化体験（食卓の脇役が主役になった記念日）」が選ばれた。コンテスト開催は3回目で、本県からの応募が最高賞となったのは初めて。

水源地のある山里の豊かな自然や特産品を生かした旅行プランを競うコンテストで、全国の自治体、観光協会などから58件の応募があり、有識者委員の審査で決定した。

東根市観光物産協会の企画は、普段は脇役として食卓に並ぶワサビや麩（ふ）を、水が育んだ地場産業としてツアーの主役に位置付け、食

## 水の里の旅コンテスト

# 東根の企画 全国一に



ミニツアー「ウエルカムひがしね」で好評だった葉わさび漬けの加工体験。最高賞に選ばれた旅行プランにも取り入れられた  
—昨年9月、東根市

材加工などを体験してもらう内容。1泊2日の行程で、大富地区でのワサビ収穫や葉わさび漬けの加工、六田地区での焼き麩作りなどの体験メニューを盛り込んだ。審査では「体験を通し、水

と食文化のつながりを理解することができるとの評価を得た。

葉わさび漬けの加工体験は昨年、同協会が主体となって実施したミニツアー「ウエルカムひがしね」でも行われ、

参加者に好評だった。同協会では「事務局職員で話し合ってた考えた企画が高く評価され、うれしい。受賞プランが夏にも商品化できるように調整を進め、東根を広く発信したい」と話している。

## 観光物産協会 ワサビや麩加工体験ツアー